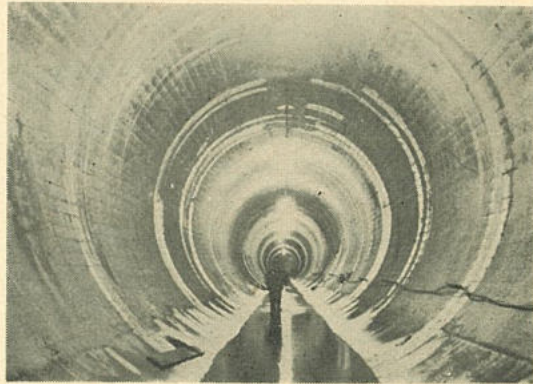
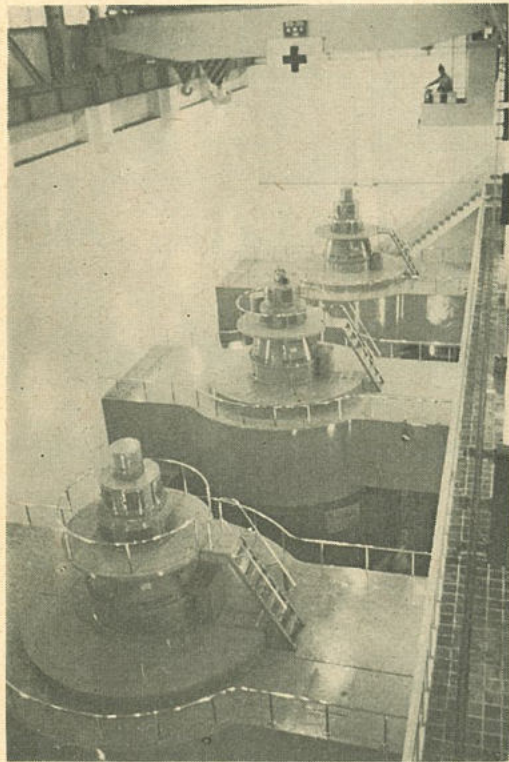


「取水口は湯田ダムの右岸上流およそ三五〇級の地点にあり、その構造は表面温水取水方式で、シリンドリゲートを採用し、自動的に水位を調整しています」←

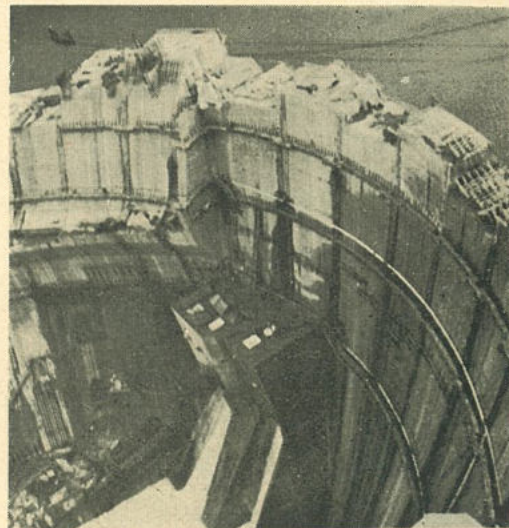
「導水路は円型の圧力トンネルで内径5m、延長は約3,100mです」→



「湯田ダムは、本県の5大ダムの一つでアーチ重力式のダムです」↓



「発電の中心をなす水車発電機は立軸単輪渦巻フランシス水車で、新和賀川発電所の1台を加えて3台配置されており、1台当り2万KWです」↑

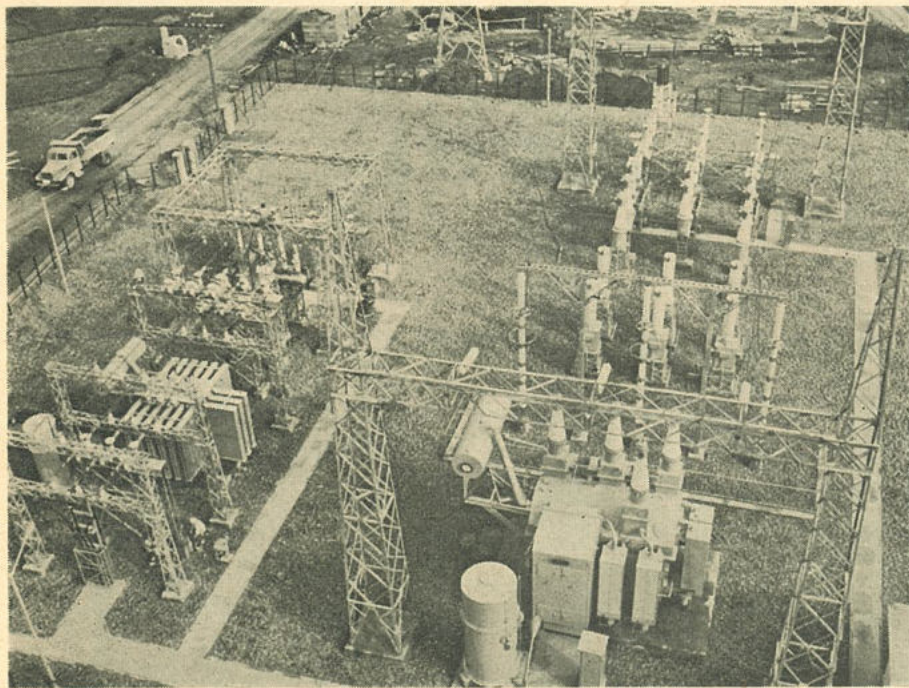


「仙人発電所は北上川の支流、和賀川の流域にあり、岩盤まで掘削して築造された鉄筋コンクリート造りの建物で、大きさは三五m×二〇mです」



県営発電第3号として和賀郡和賀町仙人に建設中だった仙人発電所は、着工いらい5年ぶりに完成しました。仙人発電所は最大出力3万7千6百KWの発電のほか、既設の東北電気製鉄和賀川発電所の代替えとして、最大出力1万5千5百KWの新和賀川発電所を併設しますので、あわせて最大出力は5万

3千KWになります。この発電所は和賀川総合開発事業の一環であり、来年完成予定の湯田ダム、さらに国営の農業水利事業、あるいは和賀中部農業水利事業に伴う開拓建設事業などと関連するものです。本号では仙人発電所の完成にちなんでその機能を写真で紹介しましょう。



「屋外変電所は、仙人発電所の真上の高台にあり、新和賀川発電所の変電所も併設しています」←

県営発電第三号 仙人発電所でききる